

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和市中央林間六丁目マンション計画	階数	6F
建設地	神奈川県大和市中央林間6丁目4352番6外2筆	構造	RC造
用途地域	準住居地域,近隣商業地域,第一種住居地域,準防火地域	平均居住人員	305 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年3月1日
敷地面積	2,913 m ²	作成者	株式会社東急設計コンサルタント
建築面積	1,805 m ²	確認日	2024年3月1日
延床面積	6,469 m ²	確認者	株式会社東急設計コンサルタント



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	CO2排出率の減少にて努力しています。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F★★★★★建築材料を使用することで、室内空気汚染化学物質がない、室内環境の向上を図ります。	劣化対策等級3を達成することで、建物の長寿命化を図ります。	緑地スペースを確保することで、豊かな居住環境を図ります。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱等性能等級5を達成することで、建物の外皮性能の向上を図ります。	特になし。	特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される